

医療科学研究科 学位（修士）取得までの過程

1. 大学院での修学姿勢・・・一般、社会人

(1) 医療科学に関する高度専門職業人、研究者の育成が目的です。

(2) 高度専門職業人としての知識技能の修得と研究能力を養います。

このために修士課程で必要とされる単位修得のための授業を履修すると共に、特に修士論文としてまとめるべき研究にしっかり取り組みましょう。

(3) 文献など必要情報を探索し、読む・理解・体系的な知識体系を組み立ててください。

(4) 研究計画を立て実施してください。

(5) 研究結果を修士論文としてまとめます。

(6) 研究成果を学会及び学位論文審査発表会等で発表（プレゼン）します。

*学会発表は、修士課程の修了要件であること（臨床心理学分野の院生を除く）などを学びます。

2. 修士課程の2年間の流れ

【千代崎、名古屋サテライトコース】

1 年 次		2 年 次	
前 期	後 期	前 期	後 期
6月～輪講1回目	10月～輪講2回目	6月～輪講3回目	10月～輪講4回目 2月 学位論文審査発表会 3月 学位授与式

【東京サテライトコース】

1 年 次		2 年 次	
前 期	後 期	前 期	後 期
8月～輪講1回目	12月～輪講2回目	8月～輪講3回目	12月～輪講4回目 2月 学位論文審査発表会 3月 学位授与式

輪講について

1. 上記「流れ」のとおり博士後期課程と合同で開講します。
2. 修士論文（としてまとめる予定）の研究に関して、出席者（教員と大学院生）に対して口述発表します。発表に続き、適宜の質疑応答、討論等も実施します。
3. 各回とも、各自の発表と他者による発表の聴講を全学生の必修とします。

4. 長期履修制度期間においても、前後期に各々1回以上の出席と発表を行うことを義務とします。

留意点を以下に記します。

- (1) 1回目の進め方：指導教員の指導下で、各自の研究課題に関連する国内・外の文献について調査（検索・輪読）を行います。文献は研究課題との関連が強い原著または総説論文を1編以上（英語論文を含む）選び、それらの内容について研究課題との関連を明示して、口述発表で紹介します。
- (2) 2回目以降は、各自の研究に関する計画・進捗状況・結果・考察等について発表し、研究手法・成果に関する修正やまとめを行います。

3. 修士課程2年間の展開

- (1) 1年次前期：

- ①研究テーマ確定のための文献調査
- ②修士研究テーマの立案・確定、テーマの目的に適う実験方法・手段等の検討・選択、実験・フィールドワーク等の研究活動開始、大学院修士として幅広い知識を修得
- ③修士課程で必要とされる単位を修得するための授業を履修

- (2) 1年次後期～2年次後期：

修士研究実施、大学院修士として幅広い知識を修得

- (3) 2年次後期：

修士研究をまとめ論文として完成させる

学位審査用仮論文の提出 12月10日（休日の場合は次の平日）（4月入学）

※学位審査委員が学位審査申請者に助言と指導を行う。

論文をまとめ学位審査申請 1月20日（休日の場合は次の平日）（4月入学）

学位論文審査発表会 2月中旬（4月入学）

学位授与式 3月中旬（同上）

テーマ・研究内容により時期は異なることがあります。指導教員とよく相談して進めてください。

修士課程の学位審査について

1. 学位審査のための発表論文の注意点について

修士論文は決められたフォーマットに従って作成してください。

- (1) 図および表には番号を付し、説明されている本文のページまたはその前後に入れるようにする。
- (2) 本文：章の番号および章のタイトルはゴシックとする。フォントは指定されたものを使用する。
- (3) 膨大なデータやプログラムなどは本文に入れずに、最後に付録として入れるようにする。
- (4) 研究業績リストは、「様式6」に従うこと。
- (5) 印刷は片面刷り・カラーで行うこと。

2. 学位申請条件

- (1) 学位申請は本学修士課程に2年以上在学し、必要単位を修得する見込みがある学生とする。
- (2) 学位申請には、修士論文研究の成果を、関連する学会（学会に準ずる研究会等を含む）において、学位論文の主旨に合った内容を1回以上筆頭演者として発表（ポスターを含む）していることが必要である。ただし、公認心理師・臨床心理士資格取得を目指す者は、この限りではない。

なお、筆頭と同等あるいは本人の寄与が顕著であると認められる場合も「筆頭」と認定される。

3. 学位審査用論文の提出期限、部数、提出先

提出期限：1月20日（休日の場合は次の平日）

提出書類：①学位審査申請書1部

②履歴書 1部

③学位論文 3部（主査1名・副査2名用）

④学位論文の要旨 3部（同上）

⑤研究業績リスト 3部（同上）

⑥学会発表を行った内容を示す資料（学会発表の要旨など） 3部（同上）

※③～⑥は一つにまとめて作成

提出先：大学院課

4. 最終版修士論文の提出期限、部数、提出先

提出期限：3月5日（休日の場合は次の平日）

提出書類：①学位論文の表紙 5部（主査1名・副査2名用、図書館・事務局1部ずつ）

②学位論文 5部（同上）

③学位論文の要旨 5部（同上）

④研究業績リスト 5部（同上）

※①～④は一つにまとめて作成

提出先：大学院課

審査過程で修正・追加などが出た場合は、修正・追加して最終版として認められたものを提出してください。

5. 修士論文要旨の提出

修士論文の要旨は紀要に掲載されます。「学位論文の要旨（様式2）」（P97）に従って作成してください。